

学校名	白岡町立南中学校
所在地	埼玉県南埼玉郡白岡町 大字千駄野356番地
電話	0480-92-1621

1. 本校の概要

本校は県東部に位置し、来年度に開校20年目を迎える学校である。JR宇都宮線白岡駅周辺を学区に持ちながらも、学校の周囲は田園風景が広がり、豊かな環境に恵まれている。

生徒は明るく素直であり、現在382名の生徒が「よく考え働く生徒」という学校目標のもとで、毎日生き生きと活動している。

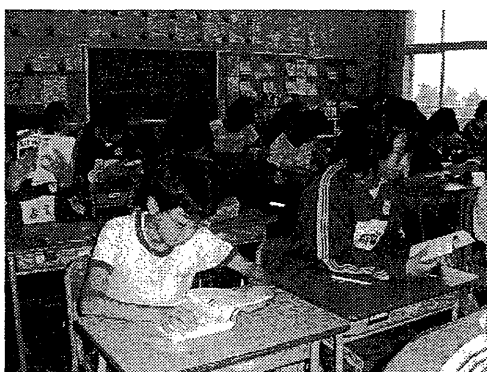
2. 本校の実践の概要

本校では、生徒の知的活動を増進し、人間形成や情操を養う上で、読書が重要な役割を持つことに着目し、平成10年度より全校一斉に「朝の10分間読書」を実践してきた。

さらに、文部省の研究指定「平成10・11・12年度学校図書館情報化・活性化推進モデル地域事業」の実践協力校として、生徒が自ら学ぶための学習・情報センター化、および、豊かな感性や情操を育む読書センターとしての機能をもつ学校図書館の充実を図ってきた。

(1) 「朝の10分間読書」の実践

学級担任の指導により、1時間目の開始前10分間を「朝読書の時間」として日課表に位置づけ、全校一斉に、毎日（朝会のある火曜日を除く）実施している。



～「朝の10分間読書」実施4原則～

- ① 好きな本を読む（意欲をもって取り組む）生徒自身が自分の興味・関心をもとに選択した本（マンガ本以外）を読む。
- ② みんなで読む（教師が手本になる）学校全体で、生徒も教師もそろって静かに本を読むことから一体感が生まれる。
- ③ 毎日10分間（集中して取り組む）本が嫌いな生徒でも、どうにか集中でき習慣化できる時間を10分間とする。
- ④ ただ読むだけ（本を楽しむことが大切）感想文や記録の類は求めない。本を読む楽しさを味わわせることが大切である。

(2) 学習・情報センターとしての学校図書館教育の充実

① 学校図書館機能の充実

ネットワーク化およびデータベース化による図書館機能（インターネット、電子メール、テレビ会議、教育データベース化、および全蔵書のバーコード化によるデータベース化）を充実させた。

② 学校図書館教育の推進

学習情報センター推進委員会の設置による学校図書館教育の推進（利用指導計画・読書指導計画の整備と実践、研究授業の実施、図書委員会活動の充実）を図った。

3. 成果と今後の課題

「朝の10分間読書」の開始により、生徒の読書意欲が著しく向上し、読書量においては月平均1～3冊以上本を読む生徒が全体の80%を越えている。また、この時間は校内が静寂に包まれるため、「心が落ち着く時間」という派生効果も生まれた。

今後は、「朝の10分間読書」の質的向上をめざすと共に、「総合的な学習の時間」推進のベースとしても、さらに全教職員共通理解のもとで、学校図書館の機能および図書館教育の充実を図りたいと考える。